

平成27年度 第3回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成28年2月16日（火） 9時30分～11時30分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 5階研修室
- 3 出席委員 16名
丸山委員長，大矢副委員長，竹内委員，近藤委員，岩戸委員，大金委員，増淵委員，石塚委員，高岡委員，荻原委員，小林委員，長谷川委員，塩田委員，佐々木委員，羽石委員，宇賀神委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - ・ 報告事項
 - (1) 平成28年宇都宮市成人式の実施状況について
 - (2) 「地域かがやきプロジェクト」の実施状況等について
 - (3) 人材かがやきセンター主催講座（後期）の実施状況について
 - (4) 宇都宮市民大学（後期）の実施状況について
 - ・ 協議事項
 - (1) 平成28年度生涯学習センター事業計画（案）について

7 発言の要旨

丸山委員長	まず 3議事（1）報告事項 ①平成28年宇都宮市成人式の実施状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。
宇賀神委員	私自身、星が丘中学校区の成人式に参加させていただきました。その際、「宇都宮の歌」を新成人が歌えていないと感じました。作詞・作曲が著名な方によるもので素晴らしい曲であるということからも、教育委員会で「宇都宮の歌」のPRをお願いできればと思います。 また資料によりますと、地域交流事業の中で豊郷中学校区では、地元の障がい者施設の方にご協力いただいているようです。このような交流を通して宇都宮の成人式を知っていただくという意味ではよい取組であると感じました。

高岡委員	<p>1つ質問をさせていただきます。成人式の出席率75パーセントということですが、何らかの理由で出席できなかった方への実施報告はされているのでしょうか。以前、娘も案内をいただいて出席できなかったのですが、その後、どのように実施されたのかと思うことがありましたので、出席できなかった方への実施報告があればと考えたところです。</p>
事務局	<p>出席していない方に対しての実施報告について、個別の対応は難しいと考えるところですが、成人式の実施状況等については、ホームページなどを通して広報することも可能かとは思いますが。各地域の実施委員会との調整もありますので、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
岩戸委員	<p>先ほど宇賀神委員からも話がありましたが、「宇都宮の歌」については25中学校区でどのくらい歌われていたかということをごひ調べていただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>生涯学習課でも式典において「宇都宮の歌」を新成人がうまく歌えていないというご意見を聞いているところであり、次回の成人式にむけて「宇都宮の歌」の周知を課題として認識しているところです。25中学校区のうち具体的に何校が歌えたかということについては、それを判断する基準が困難であると考えております。</p>
大矢委員	<p>「宇都宮の歌」については市PTA連合会50周年のときに、やはり歌えたほうがいいということで、取り組んだことがあります。そういった経験から、こうしたことを急に浸透させるのは難しいという認識があります。歌の普及については、学校で取り組むだけではなく、地域でも取組が必要なのではないのでしょうか。また、キーが高く歌いにくいという印象もありますので、編曲を加えるなどといった工夫もあると受け入れられやすいのではと思います。</p>
丸山委員長	<p>ありがとうございます。成人式について、他に意見がないようですので、次の報告事項②「地域かがやきプロジェクト」の実施状況等について、事務局より説明をお願いします。</p>
	<p>【資料について説明】</p>
	<p>【所長による説明】</p>
丸山委員長	<p>事務局および生涯学習センター所長からご説明いただきました。ご意見・ご質問がありましたらお願いします。</p>
高岡委員	<p>「地域かがやきプロジェクト」について、アンケートを実施されていると思うので、参加者の年齢層を教えてくださいたいと思います。</p> <p>また資料の表記についてですが、実施日については曜日も表記していただければ</p>

わかりやすいと思います。土日の開催ですと広い世代の参加者が集まると思うのですが、平日の日中に実施となりますとやはり参加者が限定されてしまうということもありますので、是非、曜日の表記をお願いします。

事務局

ご指摘ありがとうございます。曜日については、次回の資料から記載させていただきます。参加者の年代についてですが、今後作成する「事業実施報告書」で集計をまいります。本日は中央・北生涯学習センター所長から把握している参加者の年代についてご説明いたします。

中央生涯学習センター所長

対象が小学4年生から中学3年生ですので、主な受講者としては小・中学生になります。また、それ以外にもPTAの方や地域の方など幅広い年代の方に参加いただいています。

北生涯学習センター所長

細谷地域まちづくり協議会と共催し、育成会や自治会など各種団体から推薦いただいて開催した講座になります。主な参加者は40～70代の方と次世代の地域の人材の方が中心となっております。

丸山委員長

ありがとうございました。他にご意見・ご質問が無いようですので、この件につきましては以上といたします。

次ですが、報告事項③の「人材かがやきセンター主催講座（後期）の実施状況について」と報告事項④の「宇都宮市民大学（後期）の実施状況について」は、関連性のあるものになりますので、事務局から一括で説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

丸山委員長

ありがとうございます。ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

ご意見・ご質問がないようですので、この件につきましては以上といたします。

それでは次に、協議事項の「平成28年度生涯学習センター事業計画（案）について」、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

【資料について説明】

【所長による説明】

丸山委員長

事務局・各センター所長から説明がありました。委員のみなさん、いかがでしょうか。ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

宇賀神委員

事業計画案を拝見しております、いくつかの生涯学習センターで国際理解をテーマにした講座の実施を予定されているようですが、これからの時代を担う子どもたちに、多様な文化にふれあってもらえる機会は重要だと思います。

もう一点は、地域かがやきプロジェクトでも触れられていましたが、身近な危険について地域で考えていく、具体的にいえば危険箇所が可視化されたマップの作成なども必要なのではないかと考えています。

また最近では自治会などでごみステーションの利用や犬のフンなどについてもトラブルになるという事例もありますので、モラル教育やマナーについて目を向けていくことも重要な視点ではないかと考えています。地域に根差したテーマを考えてもらいたいという希望をもっております。

丸山委員長

ありがとうございました。事務局から何かありますか。

事務局

お話しいただいた国際理解についての講座ですが、東生涯学習センターと河内生涯学習センターでの講座になります。国際というテーマが難しいところではありますが、各生涯学習センターで小学生をはじめとした子どもを取り込むということからも有効な講座でありますので、今後もこのような講座を通し公民館事業の活性化を図っていきたいと考えております。

地域の身近な危険やマナーに関しては、生涯学習課でも各生涯学習センターと協力して取り組んでいるところですが、各生涯学習センターについては市民活動センター・地区市民センターというまちづくり機能も備えておりますので、生涯学習の事業に限らず、地域まちづくりの取組などもあわせて対応してまいります。

長谷川委員

質問ですが、Vスタッフ企画運営講座をとりいれている生涯学習センターとそうでない生涯学習センターがあるようですが、どういう棲み分けをしているのでしょうか。

事務局

昨年度までは7つの生涯学習センターに所属して講座の企画運営をしておりました。今年度より制度を変更し、人材かがやきセンターに一括して所属し、すべての生涯学習センターで活動できるようにしたことから、今回からは18センター全てに活動の場が広がりました。Vスタッフ企画運営講座の実施を予定していないところについては、Vスタッフに企画を募集したところ、応募がなかったため、各生涯学習センターの企画に変更したところですが、すでに複数年計画で講座を予定していることから、Vスタッフ企画運営講座の枠がなかったものです。いずれにいたしましても、Vスタッフ企画運営講座については、着実に増やしていきたいと考えております。

小林委員

姿川生涯学習センターの「シニア倶楽部」という講座についてですが、スポーツ吹き矢などを講座内容として考えているとのことですが、上河内生涯学習センターの講座で「ライフアップセミナー」があります。ベルモールからスポーツインストラクターを紹介していただきましたが、とても評判がよく、今回で3回目になりますので、もしよかったらそういった方を取り入れていくというのもよいのではないかと思います。

姿川生涯学習センター所長	<p>姿川では保健福祉部門で地元の方に健康づくりについて積極的に推進していただき、今でも健康づくりが盛んですが、一層盛り上げよう、目新しいことを取り入れていこうということで、スポーツ吹き矢などを考えているところです。また、参加される方が固定化しているということもありますので、新しい方を取り入れるためにも今のご意見を参考に、検討していきたいと思います。</p>
大矢委員	<p>今のような「うちの方でこういった取組をしている」というお話は大変貴重なご意見だと思います。</p> <p>また、宇賀神委員から危険マップの可視化についてご意見がありましたが、私の住む地区でも毎年1回、危険箇所の見回りなどをして改善点について陳情しているところです。委員のみなさんも地域で自治会や地域協議会などの組織に所属していると思いますので、タテヨコナナメの情報交換や情報提供をすることで、いろいろな問題の解消にもつながるのではと、今のやりとりをみていて感じたところです。</p>
岩戸委員	<p>地域協議会の話が出たので、話をさせていただきます。先日、地域協議会の集まりがあり、学校で読み聞かせをする人が少ないという話を聞きました。朝8時20分から活動をしているようですが、参加しやすいように運営のしかたについて工夫していかないといけないのではないかと感じているところです。</p>
丸山委員長	<p>地域協議会の話がありましたが、学校側から取組についてご意見があればお聞かせいただけますか。</p>
佐々木委員	<p>中学校での話になりますが、読み聞かせは学校運営上、朝が一番時間を取りやすいです。ただ、小学校では昼休みに読み聞かせをやることもあり、運営のしかたを工夫するという考え方もあると思います。陽東中では、読み聞かせの方々の人数について、問題は起きていないようです。</p>
丸山委員長	<p>ありがとうございます。他にご意見、ご質問はありますか。</p>
大金委員	<p>このような事業計画案が策定され、何よりだと思います。</p> <p>次年度の重点項目に「地域社会を支える人材育成」という項目がありますが、私の住む地域でも8つの自治会で集会場が設けられております。利用が少なく活用が難しいと感じているところがあり、生涯学習の立場からも、講座や研修会を催すなど「地域社会を支える人材育成」に目を向けていただき、力をいれていただければという希望をもっております。</p>
竹内委員	<p>事業計画案を拝見し、素晴らしい講座ができそうだと感じています。各事業の1回1回を大切に取組んでいただきたいです。また、どういった方がリーダーとして活躍いただけるかという人材育成の視点からも細かい配慮をしていただければと思います。</p>

生涯学習には集まる・学ぶ・繋ぐ事業があるかと思いますが、ぜひ繋ぐ事業に重点をおいてやっていただきたいです。先ほどから自治会やまちづくり協議会の話題がでておりますが、この時期ですと、地域の役員から「やめたい」という声が聞こえてくるなど地域の人材難を感じることもあります。そういった点からも生涯学習には、地域をけん引していく社会を支える人材の育成を期待しています。一方で生涯学習センターには市民活動センターとしての役割もありますので、生涯学習と地域との連携を図っていただきたいです。生涯学習課においても、みんなでまちづくり課との連携を深めていくことをお願いさせていただきます。

佐々木委員

中学校教育に従事する者としてお話しをさせていただきます。事業の対象者についてですが、横軸に対象者の年齢をとって、どれだけの事業が行われているか総括していただきたい、というのもこれだけ事業が計画されていて、中学生対象の事業が予定されていないように見えます。たとえば国際理解の講座で対象者に小学校4～6年という制約が本当に必要なのか、少し広い部屋を用意すれば中学生までを対象としての運営は可能なのではないのでしょうか。当然、中学生は部活動で参加が難しいという状況であり、事業をやるのに、これだけの人が集まったという結果も必要ではありますが、中学生・小学生に学校教育のみならず生涯学習という場があるということを経験させる意味では、人数のみならず、もっと戦略的にこういったものに取り組む必要があると思います。平成28年度はすでに事業が計画されているところですから、平成29年度以降、実現できればという希望も持っています。

事務局

ご意見のとおり、中学生については学校教育と同時に生涯学習というものがあります。地域協議会などでも中学生を対象とした事業を一部取り入れているところもあります。また各生涯学習センターにおいては、委員からご指摘のとおり部活動の状況などにより中学生対象の講座を企画しにくいという現状があります。中学生・青少年に対する講座については、今後、検討していきたいと考えております。

高岡委員

佐々木委員のご意見はもっともだと思います。各地域でどの年代の方に事業に参加してもらいたいのかということを見直していただくといいのではないのでしょうか。北生涯学習センターの「男のための和文化入門」はリタイアした方を取り込むのにとってもいい企画になると思います。また雀宮生涯学習センターでは現役世代対象の「ライフアップセミナー」をやってらっしゃるようです。地域の人材の掘り起こしのきっかけに、生涯学習センターの事業は役立つのではないかと考えています。今後はぜひ、やりやすい講座ではなく、どういう年齢の方に地域に参加していただきたいか、そのためにはどういう講座が必要か考え、捻出していただければと思います。人材の発掘に取りこぼしがないような講座が開発されることに期待します。

丸山委員長

ありがとうございます。他にご意見・ご質問がないようですので、協議事項「平成28年度生涯学習センター事業計画（案）について」は、承認することとして、よろしいでしょうか。

各委員	異議なし
丸山委員長	ありがとうございます。それでは、協議事項「平成28年度生涯学習センター事業計画（案）について」は、承認いたします。
佐々木委員	ひとつよいでしょうか。先ほどの「宇都宮の歌」についてですが、平成24年だったと思いますが各学校に「宇都宮の歌」のCDを教育委員会より配布しております。また各学校の子どもたちに配布しているスタンダードダイアリーというものがありますが、その中にも歌詞を掲載しております。それに加えて指導という面では、音楽の授業の年間指導計画の中で「宇都宮の歌」を指導するカリキュラムが組まれています。ですから今、卒業する子でこの歌を聞いたことがないということはないと考えておりますが、歌う場が少ないというのも現実にあります。そのような状況であるということで補足として付け加えさせていただきます。
荻原委員	今回の事業計画案を見てたいへんな量の企画をされているというのがよくわかりました。そのような企画運営のために生涯学習センターの職員は夜遅くまで頑張っている様子がうかがえます。事業の実施につきましては十分健康に留意されるよう、お願いします。
丸山委員長	ありがとうございます。以上をもちまして、本日、予定しました議事はすべて終了いたしました。委員の皆さまには、円滑な会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局に戻します。
事務局	ご審議大変ありがとうございました。 それでは、「その他」に移らせていただきます。
事務局	【次回の会議日程について説明】 本日は丸山委員長を始め、委員の皆様、長時間のご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成27年度第3回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。